

開発部長として成田裕保氏が入社

当社グループ(サンバイオ株式会社及びその子会社である SanBio, Inc.)は、2020年10月1日付けで、サンバイオ株式会社の開発部長として成田裕保氏を迎え入れたことをごお知らせします。

同氏は日本レダリー株式会社(現ファイザー)に生物研究所薬理研究員として入社後、グラクソ・スミスクライン株式会社やノバルティスファーマ株式会社において主に中枢神経領域の臨床開発部門責任者を歴任し、現在も世界中で販売されている多くの薬剤を国内承認に導きました。前職のルンドベックジャパン株式会社では開発本部長を務めるなど、中枢神経領域の臨床開発において豊富な経験と実績を有する第一人者です。同氏は東邦大学医学部において医学博士号を取得しています。

現在、当社グループでは、外傷性脳損傷の治療薬として世界に先駆け日本で SB623 を上市するための準備及びグローバル開発、また、脳梗塞プログラムと脳出血プログラムの国内臨床試験開始に向けて準備を進めています。同氏は今後、中枢神経領域、幹細胞、再生医療コミュニティの主要なオピニオンリーダーと連携し、国内における臨床開発業務全般の指揮を執ります。同時に、チーフ・メディカル・オフィサーのビジャン・ネジャドニク医師(Bijan Nejadnik, M.D.)と共に各プログラムの臨床開発戦略の立案や当社グループの長期戦略の立案において、重要な役割を担います。

入社に際し、成田氏は以下のように述べています。「全く新しい分野である細胞再生薬の臨床開発に携わる機会を得ることができ、また その市場化に向けた取り組みに大きな責任を感じると同時に期待をしております。SB623 の製品価値最大化を目指す過程で、これまでの30数年にわたる中枢神経領域での医薬品開発の経験がその一助になればと思っております。」

当社代表取締役社長 森 敬太は、以下のように述べています。「この度、医薬品開発における長年の経験と実績をもつ成田氏を迎え入れることができ、大変嬉しく思っております。成田氏のリーダーシップの下、研究開発体制を強化し、外傷性脳損傷や脳梗塞、脳出血による運動機能障害でお困りの患者さんに1日も早くSB623をお届けできるよう、社員一同全力で取り組んでまいります。」

以上

サンバイオ株式会社及び SanBio, Inc.について

サンバイオグループは、再生細胞薬の研究、開発、製造及び販売を手掛ける再生細胞事業を展開しています。当社独自の再生細胞薬である SB623 は、慢性期外傷性脳損傷及び慢性期脳梗塞を含む複数疾患を対象に開発を進めています。東京に本社、カリフォルニア州マウンテンビューに支社を置くサンバイオグループの詳細は、<https://www.sanbio.com>にてご覧いただけます。

本件に関するお問い合わせ先

サンバイオ株式会社 経営管理部

メール:info@sanbio.jp